

## 第 23 回 「保護者・教職員のための勉強会」(2019.6.1 実施)

講 師：清水展人先生(日本 LGBT 協会 代表理事)

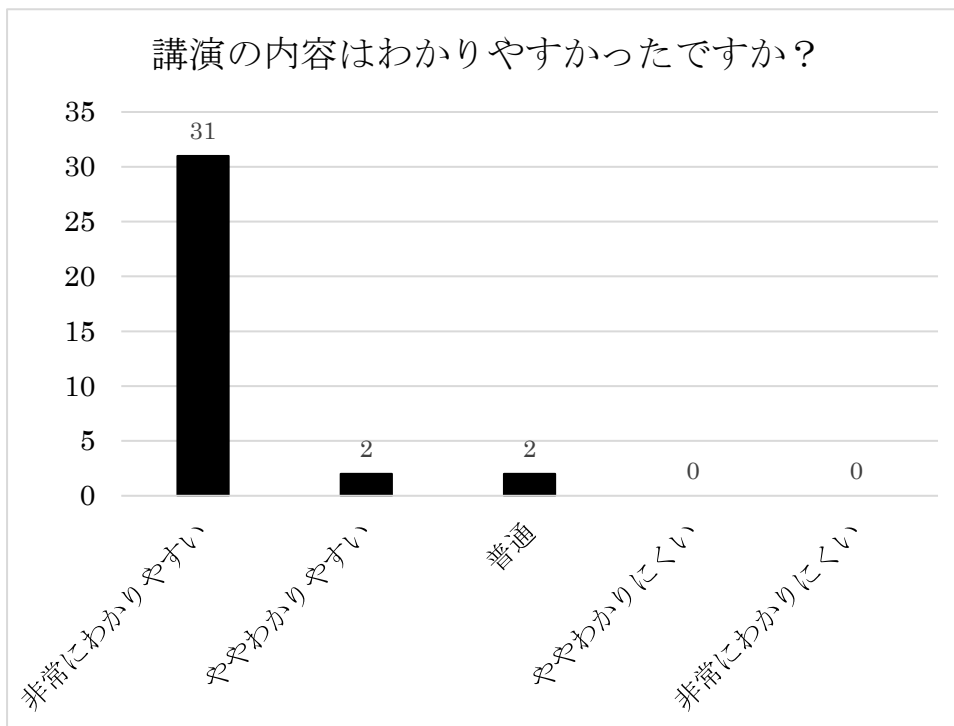
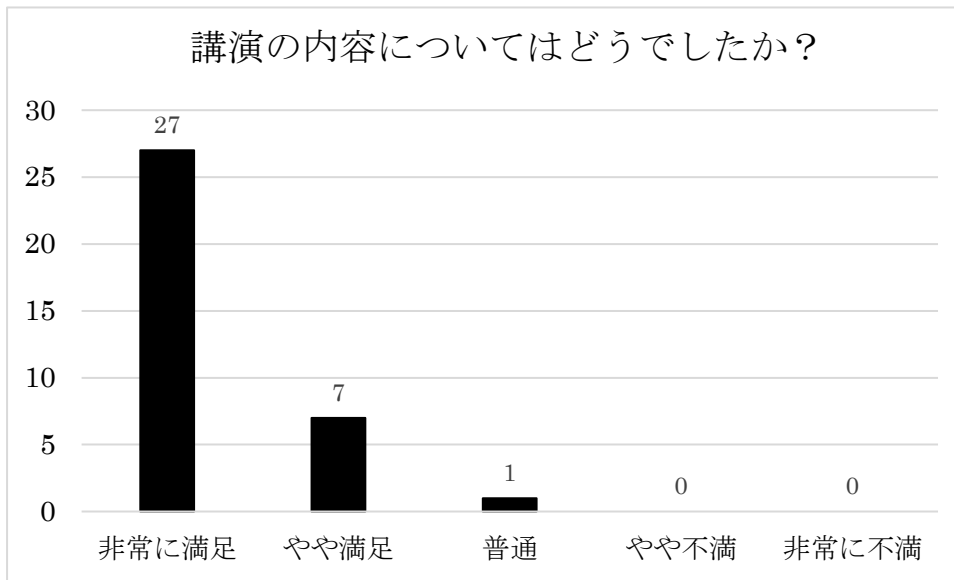
テーマ：自分らしく生きる

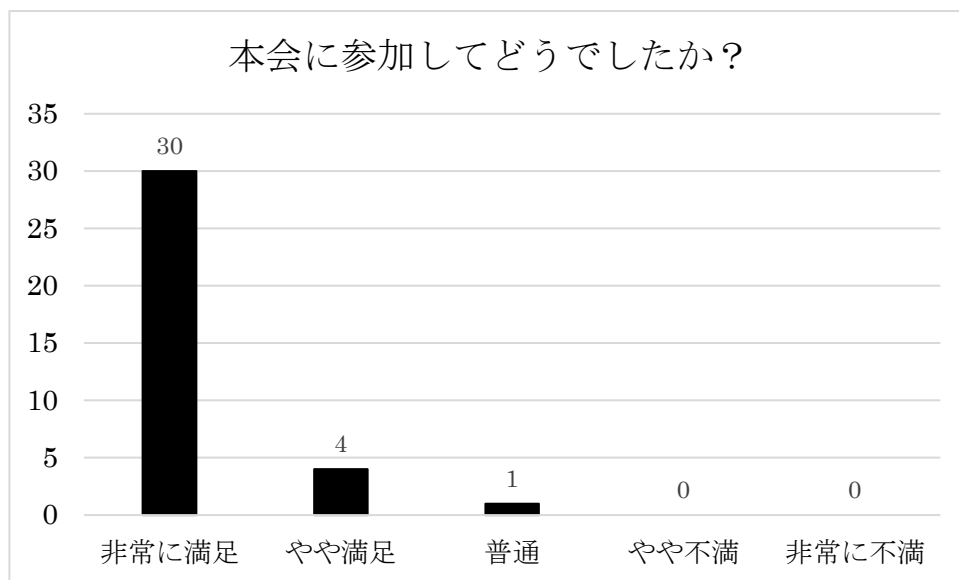
場 所：視聴覚教室

参加者数(アンケート回収数)：35 名(教職員も含む)

上宮(中学 11 名, 高校 17 名 合計 27 名), 上宮太子(中学 1 名, 高校 1 名 合計 2 名)

近隣中学校合計 1 名(上町中 1 名), その他(上町中の教員 1 名)





IV 本日の講演内容についてのご感想をお書きください。(一部省略)

- とてもためになりました。LGBTの言葉を知っていても内容を知らない人がいると思うので、今後もこのような活動は重要だと思います。
- 幼稚園の支援教員をしています。子どもたちと接する中で、これで良いのかと疑問に思うことが多々ありました。今日の話参考に、教員としてのあり方をもう一度考えて、接していきたいと思っています。このような機会をいただきありがとうございました。
- 初めて聞くことや、知ることが多かったです。一番感じたのは、私自身が「無意識の決めつけ」をしていると気づいたことです。誰もが自分らしく生きることができる世の中にしたいと強く感じました。
- 言葉は知っていましたが、どういうものなのか理解する機会がなく過ごしてきました。社会に生きる一員として、それぞれの生き方を尊重し、そのような方と出会ったときには、配慮できる環境を作っていければと思います。
- 本日、この講演会に参加できてよかったです。実際のお話も聞くことができ、自分らしく生きることの大切さを改めて感じさせられました。エネルギーとパワーをいただき感謝いたします。
- いろいろな個性が自然に受け入れられる社会になればいいと思います。
- かなり理解できるようになりました。
- これからもっとLGBTについて色々知りたいと思いましたし、周りの人々へ配慮や思いやりを持たなければと考えました。
- 自分らしく生きる。本当にそう思うことができるお話でした。これからも自分らしく、お子様の成長を見守ってあげてください。
- 今まで言葉の意味としてしか知らなかったLGBTIQのことを正しく知ることができてよかったです。子育てをする上で、いつも子どもの気持ちを大切に尊重してきましたが、それと同じで、どんなことでも当事者の気持ちを第一に考えていくことの大切さを改めて感じました。
- 周りにそういった人がいませんでしたので、今日、ご本人の意見が聞けてよかったです。
- 理解できることと、できないことがありましたが、とても勉強になりました。
- とてもわかりやすかったです。
- 学校より、このような勉強会をしていただき、学校がLGBTに関心を持っていることに嬉しく思いました。
- LGBTについて、あまり知識がないということもあったので、清水さんの話を聞いて、新たな知識を得ることができた。
- 「自分らしく生きる」ことについて考えさせられました。

- 参加させていただいて、とても身近なことで辛い思い、戸惑いを抱えている人がいるんだと改めて思った。
- なるほどなあと何度も感じました。
- LGBTという言葉をよく聞くようになり、現場はどうなのか知りたくて参加しました。LGBTだから、というよりか全ての人に対してのメッセージとも思いました。見えないからいけないわけじゃない。心に留めて生活したいと思います。
- 自分の過ごしてきたなかや、また現在高校生の子どもの友人にも、性的にいろいろな個性を持った子ども達があります。入学時の制服の選択と、受け入れ側もいろいろな準備を整えてくれていますが、関わる人たちの理解が一番大事だと改めて気づかせていただきました。見た目だけではわからない、生きづらさもいろいろ。すべての人が心地よく生きやすい世の中になるように私も協力して行けたらと思います。
- LGBTについて、テレビなどの情報がほとんどで、一度きちんと学んでみたいと思いました。本日来てよかったです。
- こうあるべきと概念が生きづらさを生み、人を傷つけている。「知ることの大切さ」も学ばせていただきました。
- 初めて今回のような話を聞けて、とても良かったと思います。周りの子どもたちにも目を向けてみたいと思います。
- 娘の同級生にも LGBT の子がいました。でも周囲の子どもたちに受け止められ、いじめもなく普通に生活していました。時代だなあと感心し、良いお友だち関係だと思います。上靴も男女別から学年別の色に代わってます。先生のお話すごく勉強になりました。
- 「性」の勉強後に LGBT の話を含めること。それが全ての人を認めていることになると思いました。そんな意識が増えて欲しいと感じました。「選ぶ権利を奪う」「男・女の意識」は悲しいです。小学校の卒業式のスーツのお話、泣きそうになりました。
- ありのままに自分が生きられる社会になって欲しい。理解できる人、また発信できる人でありたいと思います。

V 本日の講師・清水展人先生にご質問や伝えたいこと等がありましたら、お書きください。(一部省略)

- 幼稚園の支援教員をしています。幼児に対しての具体的な声かけ等、まだまだわかりにくい部分があります。非難している子どもに対してどのような説明をするのが適切なのか知りたいです。
- 聞き取りやすい声ですっかり聞き入ってしまいました。最後のムービーもとても素敵でした。
- 周りの人たちにも発信していきたいです。教育現場の方々に研修などで知っていただき、理解せねばいけないと思いました。
- マジョリティーである私には、申し訳なく思うこともあり、また全く理解できないこともありました。色々考えるきっかけにはなったかと思います。
- 自分らしくそれぞれの個性を尊重して生きる。言葉でいうのは簡単ですが、まだまだ苦勞が多いかと思いません。頑張ってください。
- ご自身のことも含め、わかりやすく講演して頂きありがとうございました。
- 本日の内容を子どもたちに伝えられたらと思います。
- LGBTIQ というものはずっとあったのでしょうか、心を抑え生きてこられる方が大半だったのでしょう。いろいろ思うことがありますが、我が子が体と心の性が違ったらどうするのだろうと考えさせられました。
- 子どもに対してどうなのだろうと思うことがあります。まずは彼自身を受け止めることをしていきたいと思いました。
- 性同一性障害だからと全ての人がオペをするわけではないことなど。自分自身の辛さを打ち明けられて受け入れられることを大変だけど良いなあと思いました。

- ご自身の経験を話される上で、辛いこともあるだろうと思いますが、そのお話で救われる方、そしてご家族がたくさんいらっしゃるかと思います。どうぞこれからも伝えることの大切さを子どもたちに教えてください。
- 乳幼児の親子と接する仕事をしています。男の子が人形遊びをしていたら親が「男やのに」などと固定概念からの声をよく耳にします。「男やのに」「女やのに」がとても違和感があり、今のうちに気づいて欲しいとお話をしています。今回の先生のお話も参考に、我が子を含め、私に関わる人に伝えていきます。お子様の誕生おめでとうございます。お幸せに。
- 感謝の一言です。